

ニューズレター雪氷北信越

No. 26 平成4年7月10日

日本雪氷学会北信越支部発行

目次

平成4年度支部総会・研究発表会・製品発表検討会報告／支部表彰規定／学習会・見学会の案内／雪崩シンポジウム／IGS

報告 日本雪氷学会北信越支部平成4年度総会・研究発表会・製品発表検討会報告

期日： 平成4年5月30日（土）13：00より

場所： 長岡技術科学大学A講義室

参加者： 70名

梅村支部長の挨拶の後、平成3年度事業・決算が報告され承認された。平成4年度事業計画及び予算案が示され承認された。平成4年度の役員は平成3年度から継続となるが、一部の役員が人事移動により交替した旨報告された。雪氷に関し貢献した者に対する北信越支部表彰規定が、執行部より提案され、原案通り承認された。

なお総会当日に機関誌『雪氷北信越』第9号が参加者に配付された。研究発表会では20件の講演があり、また製品発表検討会では1件の講演があり、活発な討論が成された。その後、大学内別室にて懇親会が開かれた。

表彰規定

日本雪氷学会北信越支部表彰規定

1. 本規定は、主として北信越地方において雪氷に関し下記の貢献をした者を表彰することを目的とする。
2. 支部長は、授賞者を選定するために授賞候補者選定委員会（以後、委員会という）を設ける。
3. 委員会は数名をもって組織し、支部長が会員の中からこれを委嘱する。
4. 委員会は、毎年全理事および評議員に下記の賞に該当する候補者の推薦を求める。
 - (1) 雪氷技術賞：克雷・利雪に有効な新しい技術を確立したものに贈る。
 - (2) 大 沼 賞：長年にわたる観測データの集録など、雪氷に関する地道な貢献を行ったもの、もしくは雪氷研究に関して斬新なアイデアを生み出したものに贈る。
 - (3) 雪氷功労賞：支部の発展に著しい貢献をしたものに贈る。ここで、雪氷技術賞、大沼賞の授賞者は本規定の趣旨に沿う者であれば、会員・非会員を問わないものとする。雪氷功労賞の授賞者は会員に限るものとする。
5. 候補者の推薦は、下記の項目を記載した書類を支部事務局に提出するものとし、その締切を毎年4月10日とする。

- (1) 雪氷技術賞，大沼賞，雪氷功労賞の区別。
 - (2) 推薦者の氏名，所属，職名。
 - (3) 授賞候補者の氏名（または団体名），所属，職名。
 - (4) 推薦理由書（〇〇〇の功績 などの授賞表題を掲げ，800字ほどにまとめたもの）。
 - (5) 上記の理由書を証明する関係書類があれば添付する。
6. 委員会は，推薦書類を検討し，その年の授賞者を項目毎に1～2件選定し，支部長に報告する。授賞者は，理事会の承認を得て決定する。
7. 各賞は賞状および記念品とし，通常総会においてこれを贈呈する。

学習会

新潟地区学習会のお知らせ

下記の要領で第四回の雪崩の力学に関する学習会を開催します。皆様お誘いあわせの上ご参加下さい。

記

日時： 1992年7月28日（火）15：40～17：00
 （長岡駅発15：00のバス（8番乗り場）で間に合います。）

会場： 長岡技術科学大学機械建設棟8階会議室

発表者： 遠藤八十一氏（農林水産省森林総合研究所十日町試験地）

なお、14：30からは雪崩の力学研究技術部会の全体集会を行っております。これにもご参加希望の方は御連絡下さい。

連絡先 〒940-21 長岡市上宮岡町長岡技術科学大学 早川典生
 Tel 0258-46-6000 Fax 0258-47-0019

学習会

福井地区雪の学習会（平成4年度第1回）

下記の通り開催します。よろしくご参加下さい。

期 日 平成4年7月24日（金）13:30～16:00
 会 場 福井県職員会館401号室
 福井市松本3丁目16-10 0776-26-0111

内 容

1. アルミ棒埋設による道路の融雪および凍結防止の効果について
 福井大学助教授 福原照幸氏
2. 福井県の雪崩対策事業について
 福井県雪対策技術センター専門員 小林五太夫氏

連絡 福井市春日3丁目303
 福井県雪対策技術センター 杉森
 0776-35-2412

「黒部川砂防」見学会

日 時：平成4年8月5日(水)

日 程： JR黒部駅(集合) ——— バス ——— 宇奈月ダム ——— バス ——— 宇奈月駅 ——— 軌道
 (9:00) (黒部峡谷鉄道)

(建設省宇奈月砂防出張所で昼食)

—— 榊平駅 ——— 榊平駅 ——
 (黒部峡谷鉄道) 昼食後、祖母谷筋砂防現地 (黒部峡谷鉄道)
 および猿飛峡見学

—— 軌道 —— バス —— JR黒部駅(解散)
 宇奈月駅 (黒部峡谷鉄道) (16:30)

集合・解散： JR黒部駅(北陸本線) 9:00 ・ 16:30

定 員： 16名(世話役の対馬、高瀬を除く)(先着順)

参加費： 無料(建設省黒部工事事務所宇奈月砂防出張所で昼食の予定ですが、お茶は支給されますけれども、昼食の弁当等は各自で御持参下さい。なお、榊平駅には食堂はありますが、昼食時には大変混雑するものと思しますので、御注意願います。)

その他： (1)雨天の場合、見学コース等の変更、短縮の可能性がありますが、なお、見学コースは、工事現場内の移動となり危険ですから、自由行動や途中下車は出来ませんので、御注意下さい。
 (2)必要に応じて長靴は借用できますので、服装は普通通りで結構ですが、雨具等は各自で御準備願います。
 (3)JR黒部駅(北陸本線)までの往復の交通費は、各自で負担して下さい。

申し込み： 〒930 富山市五福3190 (TEL. 0764-41-1271)
 富山大学理学部 対馬勝年
 または、

〒920 金沢市小立野2-40-20 (TEL. 0762-61-2101)
 金沢大学工学部 高瀬信忠

あてに、「氏名、年齢、現住所、勤務先」を御記入の上、乗書でお申し込み下さい(7月24日〔金〕必着締切り)。なお、氏名、年齢等これらの事項は保険手続き上必要ですので、どうぞよろしくお願い致します。
 建設省黒部工事事務所の御案内で見学致しますが、現地視察予定時刻表と案内パンフレット等は当日配布される予定です。

雪崩を知る・予知する・予防する長岡国際シンポジウム
 (略称：雪崩予知予防国際シンポジウム)
 参加のご案内

既に前号のニューズレターでお知らせしたように、標記のシンポジウムが当支部の主催により内外の一流の雪崩研究者を一同に集めて開催されます。参加費は日本雪氷学会員ならば5,000円、懇親会は10,000円の格安です。奮ってご参加下さるよう重ねてご案内申し上げます。

記

日時：1992年9月11-12日

会場：ハイブ長岡（懇親会はホテルニューオータニ長岡）

プログラム他詳細はニューズレター25号を参照



「1992年国際雪氷学シンポジウム」

IGS ナガオカ シンポ 速報

◎「雪氷」掲載のお知らせ記事の訂正：機関誌「雪氷」54巻2号のお知らせ記事中に下記の誤りがありましたので、お詫びして、訂正致します。

住所(197頁) (正)長岡市寺島町315番地 (誤)長岡市幸町2丁目

参加費(199頁) (正)同伴者 ¥15,000 (誤)同伴者 ¥1,5000

◎特別・賛助・団体会員の方も正会員と同じ会費で参加できます。この場合、日替り交替での参加も可能です。例えば延べ人数5人で各人1日ずつの参加が、1人分の参加費で可能です。なおこれからの参加費は1人4万円です。

◎参加登録者速報：7月10日時点で実行委員会で把握している参加登録者数は、日本在住者106名、同同伴者6名、外国からの参加者17名、同同伴者1名です。このうち外国からの参加者はまだまだ増える見込みです。

◎プログラム近々発表予定：英国のIGS本部ではプログラムの作成を終了し、近々に発表予定です。なお発表論文のアブストラクトの和訳は「雪氷」54巻2号に掲載されています。

◎宿泊：事務局で確保した分にまだ余裕があります。ご希望の方はクラス(A, B, C)を明記の上、長岡市役所のIGSシンポジウム係へお申込下さい。会場への輸送も確保されており便利です。

推薦期限 迄

支部賞の受賞候補者について

ニュースレターNo. 26（1992年7月10日発行）にてお知らせしましたように、北信越支部表彰規程ができ、

- 1) 克雪・利雪に有効な新しい技術を確立された方へ贈られる「雪氷技術賞」
- 2) 長年にわたる観測データの集録など、雪氷に関する地道な貢献を行われた方、もしくは雪氷研究に関して斬新なアイデアを生みだされた方へ贈られる「大沼賞」
- 3) 支部の発展に著しい貢献をされた方へ贈られる「雪氷功労賞」

の3賞が設定されました。規程によりますと1993年度の受賞候補者の推薦は来る4月10日迄に、支部の理事および評議員が行うということになっております。候補者にお心あたりの方は期限に間に合うようにお近くの理事あるいは評議員へお申出下さい。